教科名	英語	単位数	3		担　当	
科目名	英語コミュニケーションⅠ	必　修 選　択	必修	選択	学　年	1
教科書 副教材等	All Aboard! English Communication Ⅰ（東京書籍）					
選択対象者						
科目の 目　標	日常的・社会的な話題について、必要な支援を活用すれば・・・ **聞くこと：**必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する、また概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 **読むこと：**必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する、または概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 **話すこと（やり取り）：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りできる。 **話すこと（発表）：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 **書くこと：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					

身に付けさせたい資質・能力

健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力

1　授業内容・具体的目標

情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成すること。

2　授業の進め方

- 「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の２つを重視して授業を進める－授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。
- 教科書の内容に加え、他教科の内容を応用し授業内で扱う予定。

3　評価の規準

【知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている（技能）。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

※以上３つの観点は全て均等に扱う。すなわち、いずれか特定の観点を重視した評価は行わない。

4　評価の方法

主に以下の３つの評価方法を採用する：

①ペーパーテスト（定期考査に加え、授業で使用するプリントも含む）

②パフォーマンステスト（＝実技テスト）

③その他授業への取組状況

5　授業計画

月	単元（時数）	学習内容 （■＝インプット活動 ●＝アウトプット活動）	評価方法	向上を目指す資質・能力
4	オリエンテーション（0）	シラバスの提示 授業のグランドルールの確認		各単元において、この科目で身に付けさせたい資質・能力の向上を図る。
	PL1オレの名前は伊藤ネコだ（2）	■be動詞を使った自己紹介を、読むこと・聞くことを通して学ぶ ●be動詞を使った自己紹介	①「聞くこと」、「読むこと」の２領域は、主にペーパーテストを用いて評価を行う。 ②「話すこと（や）」「話すこと（発）」、「書くこと」の３領域は、主にパフォーマンステストを用いて評価を行う。 ③特に[主体的態度]に関しては、年に数回行われる「授業振り返りシート」（授業に対する自分の取り組み方を反省することを目的としたプリント）も使用する予定。 ※上記に関して、例外もあり得る。例えば、アウトプット活動（●）の[知・技]を定期考査（ペーパーテスト）で行うなど。	
	PL2おれはジャンクフードが好きだ（2）	■be動詞を使った自己紹介を、読むこと・聞くことを通して学ぶ ●一般動詞(be動詞以外の動詞)を使った自己紹介		
	C1自己紹介（3）	●より詳細かつ効果的な自己紹介（ALTに向けて自己紹介動画を送る）		
6	L1私の朝ごはん（8）	■世界の朝食に関して学ぶ ●自分が好きな食べ物について述べる		
	L2人なつっこい野生動物（8）	■オーストラリアの珍しい野生動物と観光ルールについて学ぶ ●自分と他者が好きな動物について述べる		
	L3笑顔を運ぶ列車（8）	■被災地を運行する列車運転士のスピーチを通して、職業の意義をついて学ぶ ●外国人観光客におすすめの観光地を教える		
	C2道案内（3）	■●道案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で道案内をしたり、道順を尋ねたりする		
	エッセイコンテストに参加する（2）	●外部のエッセイコンテスト(例：TOEIC、JICA)へ参加		
9	L4夢のような絶景（8）	■海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学ぶ ●行きたい場所について英語で述べる		
	英文Eメールの書き方（2）	●ALTから送られてきたメールに英語で返信する		
	L5長浜高校水族館部（8）	■長浜高校のユニークな部活動について学ぶ ●将来の夢について述べる		
	R1 Short Stories in English（4）	■３つのショートストーリーを読み、各場面や心情を読み取りユーモアを学ぶ ●抑揚・リズムを付けた音読		
10	L6奇想天外な浮世絵師（8）	■江戸時代の浮世絵師、宇田川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える ●好きな絵について述べる		
	L7アンネ・フランク（8）	■アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。 ●関心のある人物について述べる		
12	L8ロボットカフェ（8）	■ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える ●人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案する		
	C3乗り換え案内（3）	■●電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を学び、英語で尋ねたり案内したりする		
	L9海の豊かさを知る（8）	■プラスチックごみによる環境汚染と戦うインドネシアの姉妹について学ぶ ●環境を守るためにできることを述べる		
2	L10海の向こうからの贈り物（8）	■第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する ●海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べる		
3	R2 The Wizard of Oz（4）	■３つのショートストーリーを読み、各場面や心情を読み取りユーモアを学ぶ ●抑揚・リズムを付けた音読		

時数合計（１０５）

※他教科の授業進度や学校行事等に合わせて、扱う単元（Lesson）の順番を変えることがあります。

教科名	英語	単位数	4		担　当	
科目名	英語コミュニケーションⅡ	必　修 選　択	必修	選択	学　年	2
教科書 副教材等	All Aboard! English Communication Ⅱ（東京書籍）					
選択対象者						
科目の 目　標	日常的・社会的な話題について、必要な支援を活用すれば・・・ **聞くこと：**必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する、また概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 **読むこと：**必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する、または概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 **話すこと（やり取り）：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りできる。 **話すこと（発表）：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 **書くこと：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					

身に付けさせたい資質・能力

健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力

1　授業内容・具体的目標

情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成すること。

2　授業の進め方

- 「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の２つを重視して授業を進める－授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。
- 教科書の内容に加え、他教科の内容を応用し授業内で扱う予定。

3　評価の規準

【知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている（技能）。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

※以上３つの観点は全て均等に扱う。すなわち、いずれか特定の観点を重視した評価は行わない。

4　評価の方法

主に以下の３つの評価方法を採用する：

①ペーパーテスト（定期考査に加え、授業で使用するプリントも含む）

②パフォーマンステスト（＝実技テスト）

③その他授業への取組状況

5　授業計画

月	単元（時数）	学習内容 （■＝ターゲット文法/重要表現、 ●＝アウトプット活動）	評価方法	向上を目指す資質・能力
4	オリエンテーション（0）	シラバスの提示 授業のグランドルールの確認		各単元において、この科目で身に付けさせたい資質・能力の向上を図る。
	Pre-Lesson: 今年やってみたいこと	●自分が今年やってみたいこと	①聞くこと、読むことの２領域は、主にペーパーテストを用いて評価を行う。 ②話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くことの３領域は、主にパフォーマンステストを用いて評価を行う。 ③特に[主体的態度]に関しては、年に数回行われる「授業振り返りシート」（授業に対する自分の取り組み方を反省することを目的としたプリント）も使用する。	
	L1: ブラーノ島	■関係代名詞：what ●海外で行ってみたい場所について		
	Let’s Listen 1: ホテルにチェックイン Communication 1: 病院で診察	■ホテルのチェックイン時の表現 ●病院で診察を受ける		
6	L2: サムのリクエスト Word Box 1: Feelings and Emotions	■比較表現：more, the most ●世代を超えて人気のある人物について ■感覚や感情を表す表現		
	L3: ワイルドマンの世界	■itの用法（It is … for ~ to V等） ●身近な行事について		
9	Let’s Listen 2: 世界自然遺産 Extra Target 1: 現在完了進行形 Word Box 2: A Day in English (Part 1)	■世界自然遺産について述べる表現 ■ずっとＶし続けています ■日常生活で使用する表現		
	L4: ハチドリのしずく（学習時期：10~11月、関連：生物基礎）	■間接疑問文 ●自分の好きな物語について		
12	L5: 歌舞伎メイクの物語	■to不定詞を含む表現 ●日本の伝統文化について		
	Word Box 3: The Body and Clothes	■身体の各部分や衣服を表す表現		
	Reading 1: Mujina	東京が江戸と呼ばれていた頃の話を読む		
	Lesson 6: 伝統野菜を未来につなぐ	■「～かどうか、だろうか」のif ●地元で有名な場所やものについて		
	Word Box 4: Various Jobs	■さまざまな職業を表す表現		
2	L7: アートで世界をつなぐ	■関係副詞：where, when ●世界の人々と交流する方法について		
	Communication 2: 入国審査	■入国審査で使用する表現 ●入国審査の質問への返答		
	L8: 自然のデザインに学ぶ	■知覚動詞（see, hear, feelなど） ●自然界のデザインをヒントにした製品について		
3	L9: 甘いチョコレートの苦い現実	■使役動詞（make, let, haveなど） ●社会的な問題について		
	エッセイライティング Extra Target 2: 仮定法過去	●社会的な話題についてエッセイを書く ■～ならいいのに…		
	L10: ナイチンゲール	■分詞構文（Ｖしながら、Ｖすると） ●人を助ける職業について		
	Reading 2: Bear’s Pie	アメリカのある小さなレストランを営む人物に関する物語を読む		
	Word Box 5: A Day in English (Part 2)	■日常生活で使用する表現		
	Hit the Target!（各単元ターゲット文法の総復習）			

時数合計（１４０）

※他教科の授業進度や学校行事等に合わせて、扱う単元（Lesson）の順番を変えることがあります。

教科名	英語	単位数	4		担　当	
科目名	英語コミュニケーションⅢ	必　修 選　択	必修	選択	学　年	3
教科書 副教材等	All Aboard! English Communication Ⅲ（東京書籍）					
選択対象者	理数コース、人文コース					
科目の 目　標	日常的・社会的な話題について、必要な支援を活用すれば・・・ **聞くこと：**必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する、また概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 **読むこと：**必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する、または概要や要点を目的に応じて捉えることができる。 **話すこと（やり取り）：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りできる。 **話すこと（発表）：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 **書くこと：**基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					

身に付けさせたい資質・能力

健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力

1　授業内容・具体的目標

情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成すること。

2　授業の進め方

- 「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の２つを重視して授業を進める－授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。
- 教科書の内容に加え、他教科の内容を応用し授業内で扱う予定。

3　評価の規準

【知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている（技能）。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

※以上３つの観点は全て均等に扱う。すなわち、いずれか特定の観点を重視した評価は行わない。

4　評価の方法

主に以下の３つの評価方法を採用する：

①ペーパーテスト（定期考査に加え、授業で使用するプリントも含む）

②パフォーマンステスト（＝実技テスト）

③その他授業への取組状況

５　授業計画

月	単元（時数）	学習内容 （■＝ターゲット文法/重要表現、 ●＝アウトプット活動）	評価方法	向上を目指す資質・能力
4	オリエンテーション（０）	シラバスの提示 授業のグランドルールの確認		各単元において、この科目で身に付けさせたい資質・能力の向上を図る。
	L1: Gifts to Barcelona	■to不定詞、動名詞 ●建築物について英語で紹介できる。	①「聞くこと」、「読むこと」の２領域は、主にペーパーテストを用いて評価を行う。 ②「話すこと（や）」「話すこと（発）」、「書くこと」の３領域は、主にパフォーマンステストを用いて評価を行う。 ③特に[主体的態度]に関しては、年に数回行われる「授業振り返りシート」（授業に対する自分の取り組み方を反省することを目的としたプリント）も使用する予定である。 ※上記に関して、例外もあり得る。例えば、アウトプット活動（●）の[知・技]を定期考査（ペーパーテスト）で行うなど。	
	L2: Akkamui	■現在完了形 ●生き物の特徴について、英語で説明することができる。		
	L3: Your True Colors	■使役動詞 ●ファッションについて、英語でインタビューをすることができる。		
	L4: Our Future Food?	■受け身 ●食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。		
6	L5: Madagascar	■関係代名詞 ●地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。		
	Reading 1: The Fun They Had			
	Lesson 6: The Mystery of the Terracotta Warriors	■関係代名詞(コンマ有) ●訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。		
	L7: Green Challenges	■比較表現 ●再生可能エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。		
9	L8: Witnesses of War	■名詞を後ろから説明する分詞 ●経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書くことができる。		
	L9: The Wonders of Lightning	■仮定法過去 ●電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。		
	Extra Target 1: 過去完了形 / 過去完了進行形 Extra Target 2: 無生物主語			
12	L10: Katherine’s Long Journey	■関係代名詞 whose ●社会に影響を与えた人物について、英語でエッセイを書くことができる。		
1	Reading 2: Table for Two			

時数合計（１４０）

※他教科の授業進度や学校行事等に合わせて、扱う単元（Lesson）の順番を変えることがあります。

教科名	英語	単位数	2		担　当	
科目名	論理・表現Ⅰ	必　修 選　択	必修	選択	学　年	1
教科書 副教材等	BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅰ（数研出版）					
選択対象者						
科目の 目　標	日常的・社会的な話題について、必要な支援を活用すれば・・・ **話すこと（やり取り）**：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りできる。 **話すこと（発表）**：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 **書くこと**：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					

身に付けさせたい資質・能力

健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力

1　授業内容・具体的目標

情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成すること。

2　授業の進め方

- 「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の２つを重視して授業を進めるー授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。
- 教科書の内容に加え、他教科の内容を応用し授業内で扱う予定。

3　評価の規準

【知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている（技能）。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

※以上３つの観点は全て均等に扱う。すなわち、いずれか特定の観点を重視した評価は行わない。

4　評価の方法

主に以下の３つの評価方法を採用する：

①ペーパーテスト（※本科目は定期試験を実施しない。）

②パフォーマンステスト（＝実技テスト）

③その他授業への取組状況

5　授業計画

月	単元（時数）	学習内容 （▲＝表現，　★＝機能，　●＝話題）	評価方法	向上を目指す 資質・能力
4	オリエンテーション（０）	シラバスの提示 授業のグランドルールの確認		各単元において、この科目で身に付けさせたい資質・能力の向上を図る。（前ページと同じ）
	L1「だれが」「～する」	▲日本語で省略される主語などに注意して英語の文を表現する ●日常行うことや、天候など	評価は主にパフォーマンステストで行う。 ※以上は主な評価方法であり、例外もあり得る。例えば、アウトプット活動（●）の[知・技]を定期考査（ペーパーテスト（で行うなど。 ※特に[主体的態度]に関しては、年に数回行われる「授業振り返りシート」（授業に対する自分の取り組み方を反省することを目的としたプリント）も使用する。	
	L2動詞をうまく使おう	▲伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて表現する ●日常行うこと、「～がある[いる]」		
4・5	L3名詞の数などに気をつけよう	▲名詞が数えられるか、特定のものであるかを意識する ●友人や食べ物などの身の回りのこと		
	L4 My friends	▲「～である[ない]」「～ですか[しますか]」 ●友人など、身の回りの人		
	L5 My Family	▲「～する[している]」「～した[していた]」 ●家族など、身の回りの人		
	L6 Pastime	▲未来 ●余暇の予定や計画など		
6	L7 My Town	▲現在・過去における完了・継続・経験 ●自分の町や身の回りの状況		
	Column辞書を活用しよう！	英語で表現する力を高めるために、和英辞典・英和辞典の活用法を知る		
	L8 Our Teachers	▲能力・許可・推量 ●先生や学校での生活		
	L9 Visiting a Museum	▲必要・義務や、過去についての推量・後悔 ●催し物や行動・活動など		
6・7	L10 Famous People	▲「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」など ●有名人など		
	L11 Reading	▲「～される/ない」「～に満足だ」など ●読書や感情に関連する事柄など		
7	☆1 短い文章を書いてみよう	①文章は１文１文の積み重ね ②大事なことは最初に書こう ③読み手・目的を考えて書こう		
	L12 Studying Abroad	▲「～すること・方法，～するための…」 ●希望や目標、物事を行う方法など		
	L13 Advice	▲「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」など ●助言や頼み事など		
8・9	L14 Hobbies	▲「～すること」など ●趣味やその他の日常の活動		
	L15 My Vacation	▲「～している[された]…」「～しに行く」「～しているのを見る」など ●休暇での出来事など		
	☆2 文のつながりを示す語句を使おう①	①時間の順序に従って書いてみよう ②理由をいくつか挙げながら書いてみよう ③例を挙げながら書いてみよう		
	L16 In a Zoo	▲２つのものを比べる ●動物の特徴や人の行動		
10	L17 Our Team	▲「最も」「２倍の～」「できるだけ～」 ●学校での活動などについて他と比較する		
	L18 Neighbors	▲「～する人/物」「…が～する人/物」など ●近所の人など		
	L19 Speeches	▲「…が～すること[場所，時]」 ●友人の話や場所・時など		

10	☆3 文のつながりを示す語句を使おう②	①比較・対照して書いてみよう ②原因・結果を明らかにして書いてみよう ③情報や内容を加えながら書いてみよう	（前ページと同じ）	
	L20 My Wish	▲事実と異なる状況[願望など] ●自分の願望などの仮定の話		
	L21 A Birthday Gift	▲時・理由・条件・名詞の働きをする節 ●プレゼントを贈る場面など		
	☆4 書いた内容を読み返し書き直そう	①つづり・語句・文法の間違いはないか ②本文の趣旨と直接関係のないことはないか③理解しにくい・誤解を招く表現はないか		
	Part 2 L1 School Life	★勧誘・提案を行う ●学校生活		
11	L2 School Subjects	★依頼する、理由を聞く、述べる ●学校の教科		
	L3 Free Time	★確認・訂正 ●余暇の過ごし方		
	L4 Feeling Well?	★心配を表す、助言を行う ●体調など		
11 ・ 12	☆5 情報・考えをまとめてみよう	プレゼンテーション①		
	L5 Housework	★義務・必要 ●家事		
	L6 The Internet Is Fun	★期待・確信 ●インターネットに関して		
	L7 I’ve Lost Your Book	★謝罪する・謝罪に応じる ●失敗したことなど		
12 ・ 1	L8 Planning a Trip	★計画・予定 ●旅行や休日の計画		
	☆発表の仕方や表現を工夫しよう	プレゼンテーション②		
	L9 Experiences Abroad	★感想を尋ねる・述べる ●旅行などでの経験		
1	L10 Exchange Students	★程度・結果 ●人の性格や特徴など		
	L11 I Want to Be a…	★願望・目的 ●職業		
	L12 Cheer Up Your Friend	★同情・共感する、励ます ●悩みごと		
2 ・ 3	☆7 情報・考えを整理して発表しよう	プレゼンテーション③		
	L13 Farewell Party	★感謝・喜びの気持ちを述べる ●送別の場面など		
	L14 Saving Resources	★賛成・反対 ●環境問題		
	L15 Social Problems	★意見を尋ねる・述べる ●社会問題		
	☆8 発表を聞いて自分の考えをまとめる	プレゼンテーション④		
	☆9 競技ディベートを行う	競技ディベート		

時数合計（７０）

※他教科の授業進度や学校行事等に合わせて、扱う単元（Lesson）の順番を変えることがあります。

教科名	英語	単位数	2		担　当	
科目名	論理・表現Ⅱ	必　修 選　択	必修	選択	学　年	3
教科書 副教材等	BIG DIPPER English Logic and Expression Ⅱ（数研出版）					
選択対象者	理数コース、人文コース					
科目の 目　標	日常的・社会的な話題について、必要な支援を活用すれば・・・ **話すこと（やり取り）**：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うやり取りできる。 **話すこと（発表）**：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 **書くこと**：基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。					

身に付けさせたい資質・能力

健康・体力、行動力、思考力・判断力・表現力、自己主張力、情報収集・発信力、人間力、忍耐力

1　授業内容・具体的目標

情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーション能力を図る資質・能力を育成すること。

2　授業の進め方

- 「生徒の主体性」と「教え合い（主に生徒間）」の２つを重視して授業を進める－授業中分からない点がある場合は先生や周囲の生徒から必要なサポートを得られるよう行動することを求める。
- 教科書の内容に加え、他教科の内容を応用し授業内で扱う予定。

3　評価の規準

【知識・技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深める（知識）；これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている（技能）。

【思考・判断・表現】

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

【主体的に学習に取り組む態度】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

※以上３つの観点は全て均等に扱う。すなわち、いずれか特定の観点を重視した評価は行わない。

4　評価の方法

主に以下の３つの評価方法を採用する：

①ペーパーテスト（※本科目は定期試験を実施しない。）

②パフォーマンステスト（＝実技テスト）

③その他授業への取組状況

5　授業計画

月	単元（時数）	学習内容	評価方法	向上を目指す資質・能力
4	オリエンテーション（0）	シラバスの提示 授業のグランドルールの確認		各単元において、この科目で身に付けさせたい資質・能力の向上を図る。（前ページと同じ）
	L1 School Festival	「～である」「～する」「～している」などを英語で表現できる。	評価は主にパフォーマンステストで行う。 ※以上は主な評価方法であり、例外もあり得る。例えば、アウトプット活動（●）の[知・技]を定期考査（ペーパーテスト（で行うなど。 ※特に[主体的態度]に関しては、年に数回行われる「授業振り返りシート」（授業に対する自分の取り組み方を反省することを目的としたプリント）も使用する。	
	L2 A Trip to Sapporo	未来の予定や計画などについて、英語で表現できる。		
	L3 My Dear Friend	現在における完了、経験、状態・動作の継続の意味を英語で表現できる。		
	L4 A Dog in a Barbershop	過去の状態や習慣、過去についての推量などを英語で表現できる。		
	L5 Japanese Food	「～される」「～だと言われている」「～に喜ぶ」などを英語で表現できる。		
	L6 Volunteer Activities	「…に～するように勧められる」「…に～させる」などを英語で表現できる。		
	L7 A Stage Actor	「～だったと言われている」「～するほど…」などを英語で表現できる。		
6	L8 I Like Singing	「～すること」「～しているのを…する」などを英語で表現できる。		
	L9 Cycling	「～しに行く」「～しているのを…する」などを英語で表現できる。		
	L10 My New Hiking Boots	「同じくらい～」「より～」「X倍の～」などを英語で表現できる。		
	L11 The Yangtze River	「最も～」「何番目に｜」などを英語で表現できる。		
	L12 My Sister’s Job	「～する人/物」や、「人/物」についての補足説明を関係代名詞を用いて表現できる。		
	L13 In Kansas City	「～すること」「～する場所/時」や「場所/時」の補足説明を関係代名詞を用いて表現できる。		
	L14 Dreaming of Space	「もし～ならば….」と、事実と異なる仮定を英語で表現できる。		
	L15 An Android Like You	「～ならいいのに」「まるで～のように」などを英語で表現できる。		
	L16 I Left My Smartphone	「～であると気づいた」「～であるかどうか尋ねた」などを英語で表現できる。		
9	Part 2 L1 What’s Your Favorite Dish?	英語で好き嫌いを述べることができる。		
	L2 Uniforms or Casual Clothes?	英語で希望・欲求を述べることができる。		
	L3 Project Studies Program	英語で賛成・反対を述べることができる。		
	L4 A Guitar Concert	英語で勧誘・招待する、期待を述べることができる。		
	L5 Studying Abroad	英語で計画・意図を述べることができる。		
	L6 What Should I Do?	英語で提案・助言を行うことができる。		
	L7 A Korean Drama	英語で程度や譲歩を述べることができる。		
	L8 Going Bird Watching	英語で依頼・要請を行うことができる。		
	L9 Meeting the Deadline	英語で許可を求めることができる。		
	L10 Friendship Festival	英語で感謝・喜びを述べることができる。		
	L11 Returning a Magazine	英語で謝罪する・謝罪に応じることができる。		
	L12 What Is Your Opinion?	英語で個人的な意見を述べることができる。		
	Part 3 L1 Making a Manuscript	プレゼンテーションの原稿を作ってみよう。		

	L2 Making Your Presentation More Effective	プレゼンテーションをより効果的なものにするには。		
	L3 Being an Active Listener	プレゼンテーションを聞く時の注意点。		
	L4 Having a Discussion	ディスカッションを行ってみよう。		
	L5 Speaking in Order	ディスカッションにおける適切な発言のしかた。		
12	L6 Thinking Logically and from Different Angles	ディベートを行う意義（論理的・多面的に考える力を養う）。		
1	L7 Sharpening Your Thinking Ability	ディベートを通じて思考力に磨きをかけよう。		

時数合計（７０）

※他教科の授業進度や学校行事等に合わせて、扱う単元（Lesson）の順番を変えることがあります。